くま小運信

第19号 令和5年2月24日

名古屋市立熊の前小学校

名古屋市緑区亀が洞一丁目 901 番地

Tel: 052-878-1600

http.//www.kumanomae-e.nagoya-c.ed.jp

各記事と「学校教育目標」(第1号参照)の関連を、次のように文末に示しています。 (1) 基礎基本を身に付け、自ら学ぶ力を備えた子の育成→【①**自ら学ぶ力**】

(2) 思いやりの心・社会の一員としての自覚を備えた子の育成→【②思いやり・社会性】(3) 生涯にわたって健康に過ごすための心身を備えた子の育成→【③心身の健康】

学校教育に関するアンケート結果報告

皆様にご協力いただいた「学校教育に関するアンケート」の結果 についてご報告します。

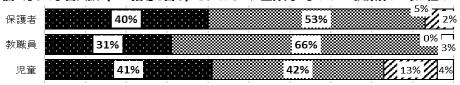
グラフ中の"%"は、4段階の回答の割合を示しています。また、 "平均得点"は、A=4点、B=3点、C=2点、D=1点として、その 平均を算出したものです。平均得点2. 8(=4点満点の7割)以上



を、「おおむね満足できる状況」、3.2(=4点満点の8割)以上を「十分に満足できる状況」であると判断しました。 なお、教職員も、保護者アンケートと同様の 10項目で自己評価を行いました。また、児童には1~5の5項目に ついてアンケートを実施しました。三者の結果を比較してご報告します。

【問1:学校は、指導法を工夫したり、個に応じた学習支援(TT指導を含む)をしたりして、主体的に学ぶための授業作りに取り組んでいる。】

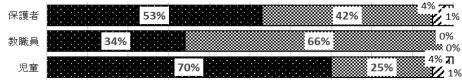
平	保護者	3.3点
-均得点	教職員	3.3 点
	児童	3.2点



三者とも「十分に満足できる状況」でした。感染症対策が若干緩和されたことや、タブレット端末を使った個別学習や意見交流などがより一層充実したことをご評価いただけたと捉えています。

【問2:学校は、子ども同士が自分もみんなも大切にし、楽しく活動できる場になっている。】

平	保護者	3.5点
平均得	教職員	3.3点
点	児童	3.6点



三者とも「十分満足できる状況」でした。この項目は、特に大切にしたいところの一つですので、CやDと答える子どもや保護者の皆さんが0になるよう、改善の余地を探していきます。

【問3:保健指導やメンタルヘルス指導(心の状態を把握するためのアンケートやそれを基にした指導)は適切に行われている。】

平	保護者	3.4点
均得	教職員	3.6点
点	児童	3.6点



三者とも、「十分満足できる状況」でした。今年度も、年間2回の教育相談アンケート、4年生以上では年間2回のWEBQU、毎月初めの「こころと体のチェックリスト」、タブレットを使った「心の天気」の記録等、心身の健康状態の変化にいち早く気付けるように配慮しました。今後も、ご家庭との連携を密に取りながら、お子さんの心身の健康を守っていきたいと考えています。

【問4:食育の授業や、普段の給食指導によって、児童自身が食に主体的に向き合い、食を通してよりよく生きる児童の育成を図っている。】

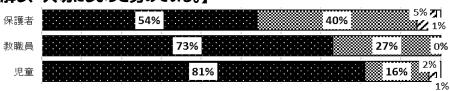
平	保護者	3.8点
均得	教職員	3.8点
点	児童	3.5点



三者とも、「十分満足できる状況」でした。特に、保護者の皆様の平均得点は、昨年度同様に 3.8 点と、昨年度よりもさらに高得点となっており、非常に励みになります。来年度も引き続き、くま小食育に、ご期待ください。

【問5:学校は、子どもをよく理解し、大切にしようと努めている。】

平	保護者	3.5点
平均得点	教職員	3.7点
	児童	3.8点



三者とも、「十分に満足できる状況」でした。ここも、特に大切にしたい項目の一つです。熊の前小学校全員の教職員が、熊の前小学校全員の子どもたちを大切にする意識をもつことを、今後も大切にしていきます。

【問6:学校は、子どもの安全を第一に考えて、防犯・緊急時の対応に積極的に取り組んでいる。】

平均	保護者	3.4点	保護者 51% 44% 4% A 44% 44% 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
得点	教職員	3.4点	教職員 33333333 41% 33333 59% 59%

両者とも、「十分満足できる状況」でした。今後も、緊急時を想定した避難訓練や防犯訓練を大切にしていきます。保護者の皆様におかれましても、引き渡し訓練等へのご協力を、お願いいたします。

【問7:学校は、子どもたちの様子を伝えるために家庭との連絡を適切に行っている。】

平均	保護者 3.4 点	保護者	47% 44% 8% 71
得点	教職員 3.5 点	教職員	52% 52% 48% 0% 0%

両者とも、「十分満足できる状況」でした。今後も、各学級担任から、連絡帳やお電話、お便り等で、積極的に情報 共有をしていきます。保護者の皆様も、気になることがありましたら、遠慮なさらずご連絡ください。

【問8:学校は、保護者の声に耳を傾け、よりよい学校にするために努めている。】

平均	保護者	3.4点	保護者	52% 41% 6% 2 1
得点	教職員	3.6点	教職員	64% 36% 36% 0% 0%

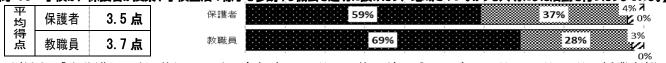
両者とも、「十分満足できる状況」でした。今年度も、行事後や食育に関するアンケートにご協力いただいたほか、様々な形で保護者の皆様からご意見・ご要望をいただきました。一つ一つを精査し、学校運営に生かしていくべきと判断したものについては、積極的に取り入れていく考えです。ただし、学校に裁量がない場合や、総合的に判断してご要望に添えない場合もあります。その際は、理由を丁寧に説明し、理解を得ていきたいと考えています。

【問9:学校は、学年だより、学校だより、各種たより、学校ホームページ、メール配信などで、学校からの情報を分かりやすく伝えている。】

平 均 得·	保護者 3.5 点	保護者	61% 33% 5% XT 1%
得 点	教職員 3.9 点	教職員	88% 12% 0% 0%

両者とも、「十分満足できる状況」でした。今年度途中から、「なごやっ子あんしんメール」を利用したお便りの電子配信を始めました。紙面配付をしないことによる情報の伝達漏れがないか心配していましたが、現状、そのような事態は起きていないと把握しています。ある保護者の方からは、「スマホで確認できるから便利」との声もいただき、今後も引き続き運用していこうと考えています。また、学校ホームページについても、「更新を楽しみにしている」との声をいただいていますので、引き続き充実したものになるように工夫していきます。

【問 10:学校は、保護者が授業や学校生活の様子を参観する機会を適切に設けたり、地域とのつながりを大切にした活動を行ったりしている。】



両者とも、「十分満足できる状況」でした。今年度は、5月には熊の前スポーツデー、6月、10月、2月の授業参観、11月には学芸会と、保護者の皆様に来校いただき、お子さんの成長や活躍をご覧いただく機会を、数多く設定することができました。とりわけ学芸会は、コロナ禍の中で感染症対策を講じながら無事開催することができ、非常に価値のある行事にすることができました。来年度も、保護者の皆さんに学校に足を運んでいただく機会をできるだけ多く計画できればと考えています。「地域とのつながり」についても、1年生が地域の方に「昔の遊び」を教えていただく学習を復活させることができました。今後も、地域の力を借りながら、より一層充実した教育活動を展開していきたいと考えています。

く総括>全ての項目において、保護者の皆様から「十分に満足できる状況」であるというご評価をいただくことができました。 自由記述の中に、「コロナ禍でも、いつも子どもたちの経験を最大限確保するために考え、動いてくださりありがとうございます」「コロナの収束が見通せない中で、学芸会や授業参観を行っていただいて感謝しています。子どもとの大切な思い出になりました」などという記述がありました。「コロナ禍でも、最大限充実した教育活動を」という思いで教育活動を推進してきた我々の取組を評価していただけたことが伝わり、非常にうれしく思いました。一方で、以下のようなご意見もいただきました。

- タブレットが活用できていないと感じる。タブレットの活用をもっと進めてほしい。
- ② 不審者が出た際の対応が不十分と感じる。
- うンドセルが重すぎるため、「置き勉」を認めてほしい。
- 学校と保護者、地域との関わりが少なくなったと感じる。コロナ以前のように関わりを増えるとよいと思う。

●に関しては、校内外での研修等を通して、教員の ICT 活用の技能が高まるよう、努めています。ただ、あくまでタブレットは"ツール"であり、使うこと自体が目的ではありません。状況に応じた効果的な活用ができるよう、今後も工夫していきます。

②に関しては、警察等の関係機関と連携を図り、適切な対応をしています。学校の主たる役割は、子どもたちへの「安全指導」ですので、パトロールは警察に要請し、見守りは保護者や地域の皆さんに協力を依頼しています。学校でできることは、時間的にもマンパワー的に限られますので、今後も、保護者や地域の皆さんのお力を借りながら、子どもたちの安全を守っていきたいと考えています。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

❸については、「置き勉」はかなりの範囲で認めています。周知や説明が不十分だったためか、適切に伝わっていないようで申し訳ありません。基本的な考え方については、「くま小通信3号(R4.4.15)」裏面に記載がありますので、ご確認ください。

●については、【問 10】で触れたとおり、少しずつ地域の皆さんとのつながりを復活させています。学校は、慢性的な人手不足の状況ですので、今後、より一層地域の皆さんの力をお借りしながら、学校運営を進めていきたいと考えています。

上記の他にも、示唆の富んだご意見を多数いただきました。来年度以降の学校運営に生かしてまいります。

ご回答いただいた皆様、アンケートへのご協力、ありがとうございました。